

# 広葉樹の採材検討会を開催しました

## 置賜森林管理署

令和5年10月19日、南陽市大字小滝字水林国有林内の森林環境保全整備事業地内において、当該地の素材生産事業請負者である米沢地方森林組合のご協力により採材検討会を開催し、総勢11団体31名にご参集いただきました。

今回の検討会は、近年市場に出回る量が減少し価格が上昇している一般製材用の広葉樹材の有利販売を目的に、ブナ、ナラなどの広葉樹5本を供試木として準備し、4班に分かれた参加者に採材検討していただきました。



参加者は、節や曲がりなどの欠点を避け、如何にして良質な一般材を採材できるのかを一本一本じっくり検討していきました。

講師でお越しいただいた市場関係者の方からは、「多少の欠点や規格外であっても許容範囲であれば高値が付くこともある。」と説明を受け、供試木の一本であるナラは、「色合いもよく欠点が少ないのでm3 当たり〇〇万円！」の発言に、会場にはどよめきが起こり、一般材の可能性があれば積極的に採材すべきであると認識を深めたところです。



参加者からは、「採材次第で価格が大きく変わることが分かった。」「実際に市場で取引されるところを見てみたい。」という意見をいただき、このような意見も参考にしながら、これからも地域から生産された木材の有効利用促進に取り組み、林業・木材生産の発展に貢献したいと考えています。